

関係各位

京都府病虫害防除所長  
( 公 印 省 略 )

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

## 発生予察特殊報第 5 号

病 害 虫 名 シナチクノメイガ  
*Eumorphobotys eumorphalis* ( Caradja )  
作 物 名 タケ類  
発 生 地 域 京都府南部 ( 京都市、長岡京市 )

### 1 発生経過

- (1) 令和 6 年 7 月、京都市及び長岡京市のタケにおいて、葉の褐変及び葉枯れ症状が見られた。葉を確認すると、チョウ目の幼虫や蛹が確認された。採集した幼虫及び蛹を農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、シナチクノメイガと同定された。
- (2) 本種は、近年侵入が確認された外来種であり、令和 2 年に愛知県で初めて発生が確認された。その後、静岡県、山梨県、神奈川県、東京都、千葉県、栃木県、兵庫県及び大阪府で発生が確認されている。

### 2 形態及び生態

- (1) 本種はチョウ目ツトガ科に属し、成虫は開長 30~40mm で、触角は糸状。前翅前縁の先端部はゆるく曲がり、雌雄で色が異なる。本種は我が国のノメイガ類の中では大型であり、前翅に模様や斑紋がない。
- (2) 雄の前翅は灰褐色で、縁毛は基部が灰褐色となる黄色であるが先端部(a)と後縁部(b)は暗色。後翅は灰褐色で縁毛は前翅同様、基部が灰褐色の黄色 (前翅後翅共にまれに黄褐色のものもいる) (写真 1)。
- (3) 雌の前翅は黄褐色で末端付近が幾分ピンクになる(e)。縁毛は雄と同様で、基部が灰褐色の黄色で、先端部(c)と後縁部(d)は暗色。後翅は通常灰褐色で、中央部(f)が淡色となる (写真 2)。
- (4) 幼虫は、終齢で体長約 30mm 程度。体色は淡緑色~淡赤白色(写真 3)。
- (5) 幼虫は葉を綴じ合わせてその中で蛹化し(写真 4)、のちに成虫となる。

### 3 被害の特徴

主な寄主はタケ類で、幼虫が葉を加害し、加害された葉は褐変する(写真 5)。多発すると、緑葉がなくなる(写真 6)。

#### 4 防除対策

- (1) 令和6年10月1日現在、たけのこ（野菜類）において本種に適用のある農薬はない。
- (2) ほ場内をよく見回り、本虫や綴じ合わされた葉等を見つけたら、可能な限り除去する。
- (3) 本種の発生が見られた場合は、最寄りの農業改良普及センター又は病虫害防除所に相談する。



写真1 雄成虫

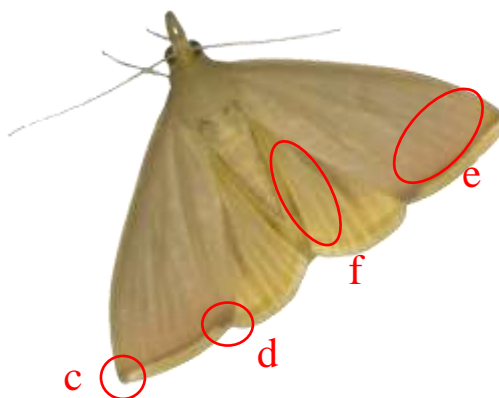


写真2 雌成虫



写真3 幼虫



写真4 蛹



写真5 被害葉



写真6 多発した竹林

注) 写真1, 3, 4は京都市南部農業振興センター  
洛西分室提供

#### <参考文献>

- (1) 岩下幸平他 (2022) 中国南部からの外来種と考えられるノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925)の日本からの初記録. 蛾類通信 300:683-684.
- (2) 藤井才暉 (2023) 外来種シナチクノメイガの茨城県での観察記録. るりぼし 53:172-173.
- (3) 坂上洸多 (2024) ハチ北高原から得られた蛾類3種の採集例. きべりはむし 47(1): 68-69.
- (4) 横田光邦 (2023) 生田緑地におけるシナチクノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925) の記録. 川崎市青少年科学館紀要 33:26-27.